



2025年3月期 決算説明資料

東証STANDARD
(6864)

株式会社エヌエフホールディングス

1. 2025年3月期 決算概要

● 連結損益

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前期比 増減率(%)
売上高	9,399	9,083	△3.4
営業利益	418	547	+30.7
経常利益	484	587	+21.2
親会社株主に帰属する 純利益	323	450	+39.2
1株当たり純利益(円・銭)	46.14	64.21	-

- ◆ 売上は、計測制御デバイス関連分野と電源パワー制御関連分野の標準品や、機能デバイス特注商品、産業用カスタム電源システムは堅調であった一方、蓄電システム事業再構成の途上にある環境エネルギー関連分野での減少の影響により、全体では前期比減収となりました。
- ◆ グループ営業力強化、調達・生産能力強靱化等の取組みが、売上減少やコスト上昇等マイナス要因への対策に一定の効果を上げ、営業利益、経常利益は前期比増加となりました。
- ◆ 投資有価証券売却、蓄電システム事業構造改革費用による特別損益の計上、非支配株主に帰属する損益控除処理等により、親会社株主に帰属する純利益は前期比増加となりました。

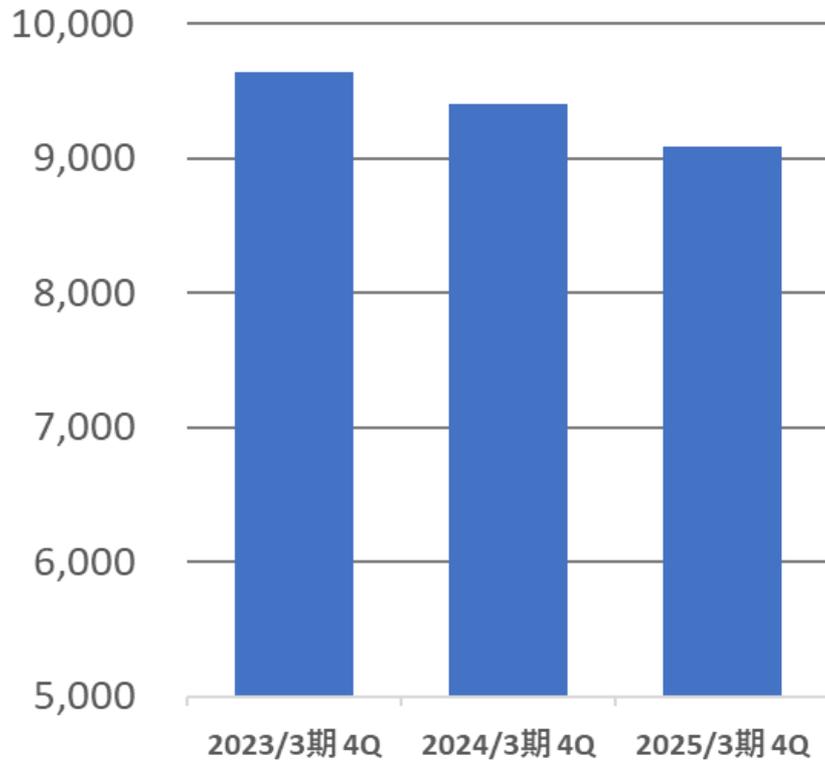
売上高・経常利益の推移



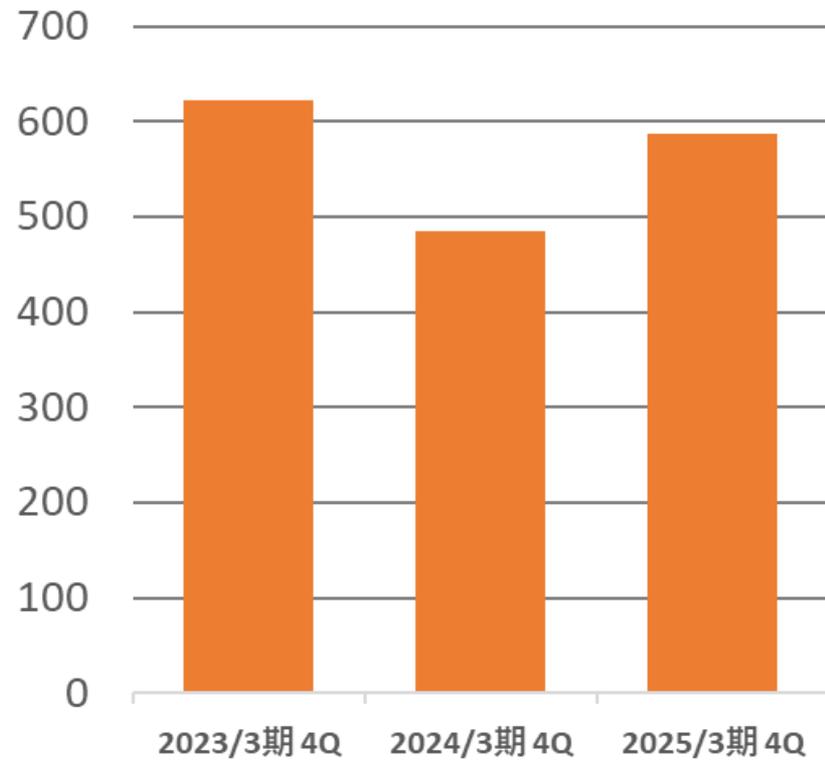
(単位：百万円)

(単位：百万円)

売上高

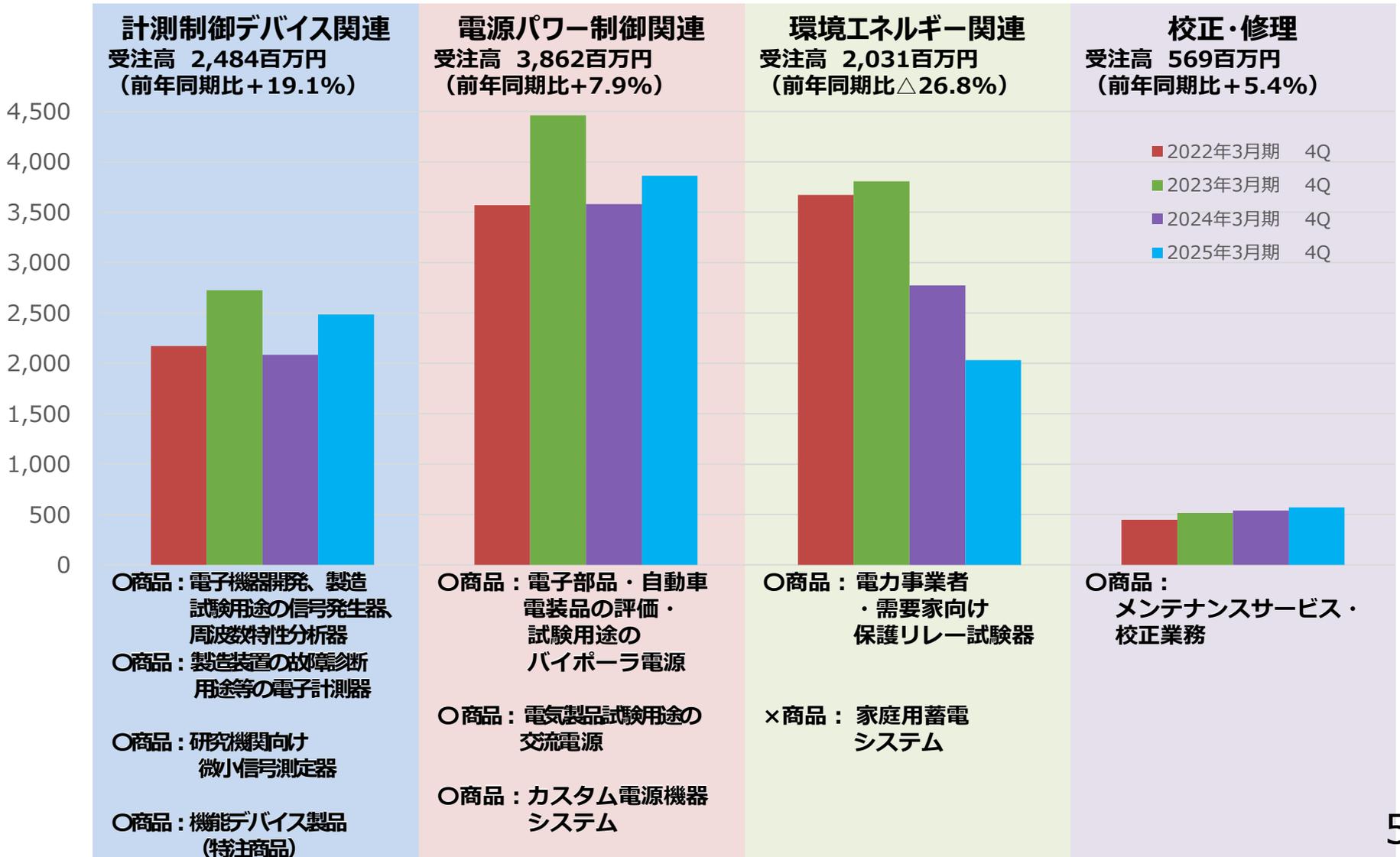


経常利益



事業分野別受注高

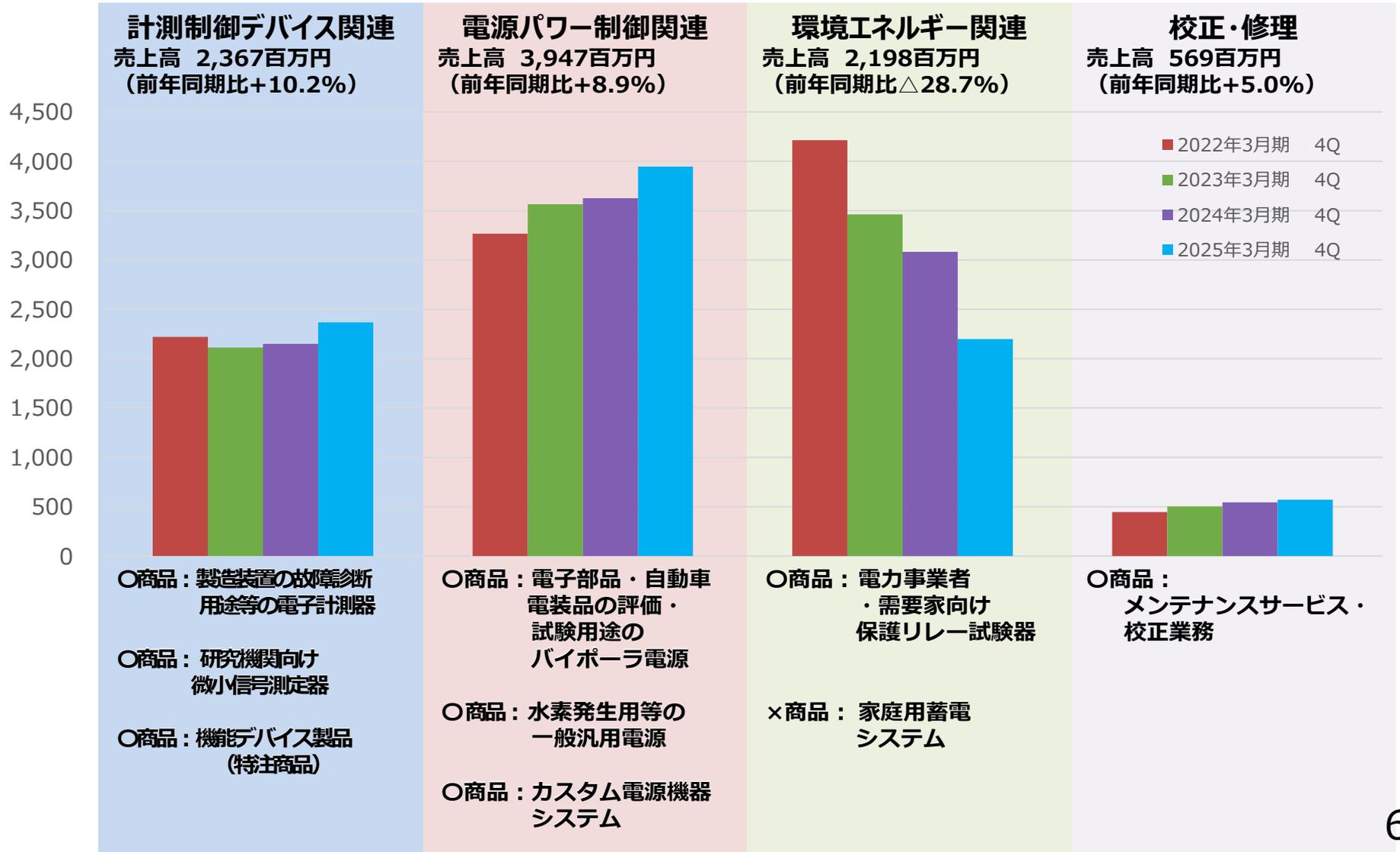
(単位：百万円)





事業分野別売上高

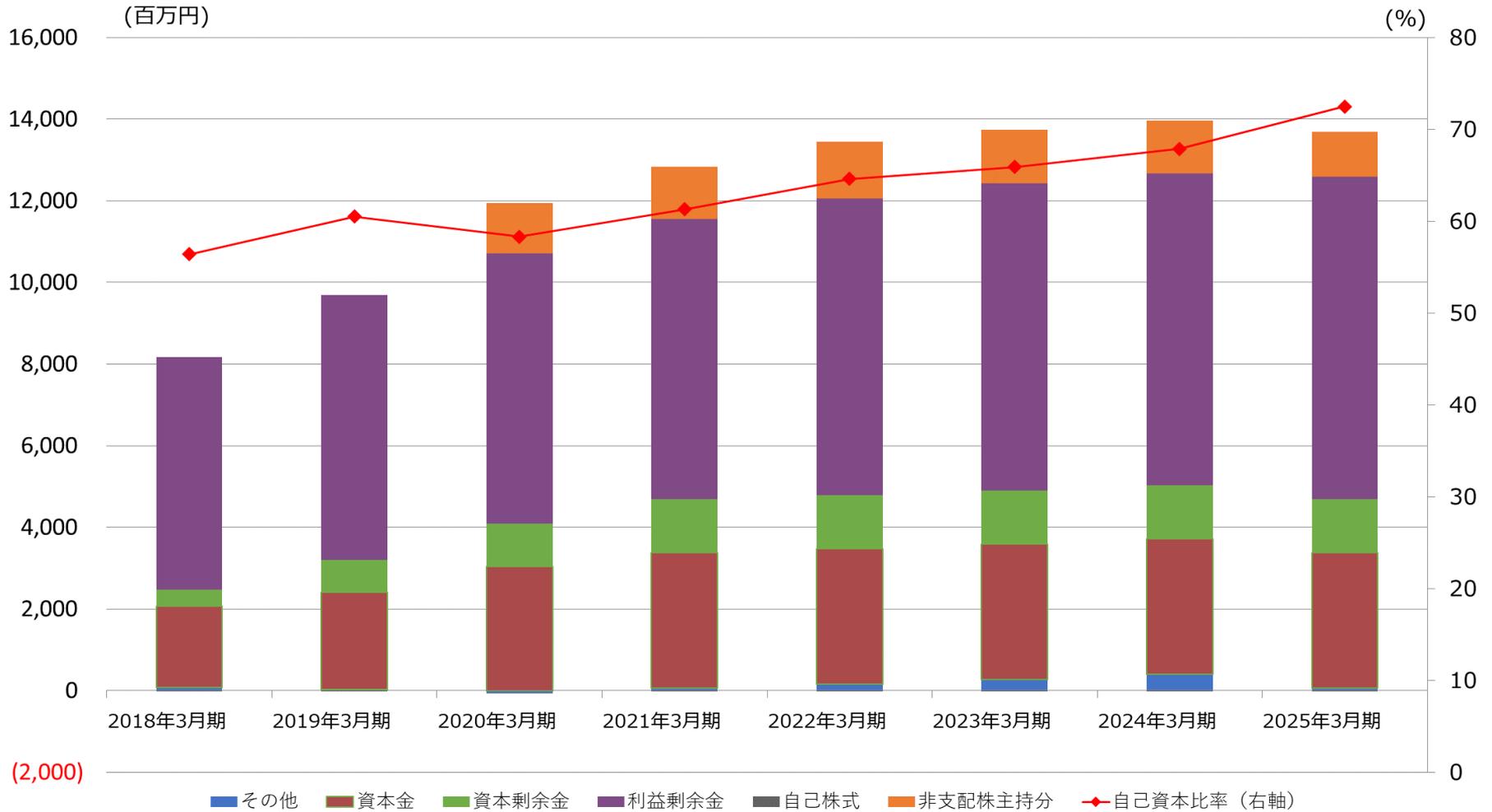
(単位：百万円)



● 連結貸借対照表

	2024年3月期末	2025年3月期末	増減	(単位：百万円)
現預金	5,341	5,445	+104	
売上債権	3,257	3,527	+270	
たな卸資産	4,389	3,808	△581	
その他	249	97	△151	
流動資産 計	13,237	12,879	△358	
固定資産 計	5,389	4,442	△947	
資産合計	18,627	17,321	△1,305	
仕入債務	1,435	728	△707	
短期借入金・社債	510	1,111	+601	
その他	1,044	1,334	+289	
流動負債 計	2,989	3,174	+184	
長期借入金・社債	1,412	300	△1,112	
その他	288	180	△107	
固定負債 計	1,700	480	△1,220	
負債合計	4,690	3,654	△1,035	
純資産合計	13,937	13,666	△270	
自己資本比率	67.9%	72.5%	+4.6%	

自己資本の推移



◆ 2025年3月期末時点で、自己資本12,563百万円(除く非支配株主持分)、自己資本比率72.5%と、引き続き財務の健全性確保に努めてまいります。

2. 2026年3月期 事業展開

● VISION



Leading Company for Measurement & Control

人々に共感を持たれる新しい価値を創造し提供することにより、
社会からその存在を認められ期待される“計測・制御のリーディングカンパニー”

●Solid & Organic Blocグループ会社

エヌエフグループ会社は、

個々の力を **Solid** な固体質で結集し、その事業展開を**Organic Bloc**として
有機的に協調し、お客様に新しい価値を創造し提供します。

●お客様と社会の課題を解決する、新価値創造グループ会社

エヌエフグループ会社は、

グローバルな持続可能目標への貢献と科学技術発展への貢献を礎に事業成長し、
お客様に新しい価値を創造し提供します。

● エヌエフグループの市場



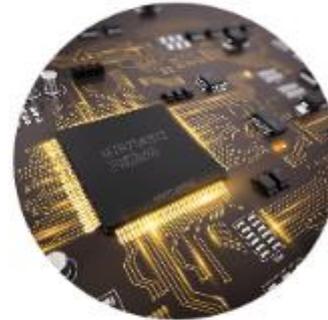
- ◆ エヌエフの製品は、産業機器、電機、自動車、社会インフラ（電力・鉄道など）から航空・宇宙に至る幅広い市場で活用されています。



電力



クリーンエネルギー



エレクトロニクス製品



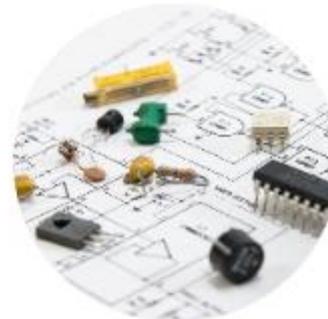
自動車



鉄道



航空・宇宙



電子部品



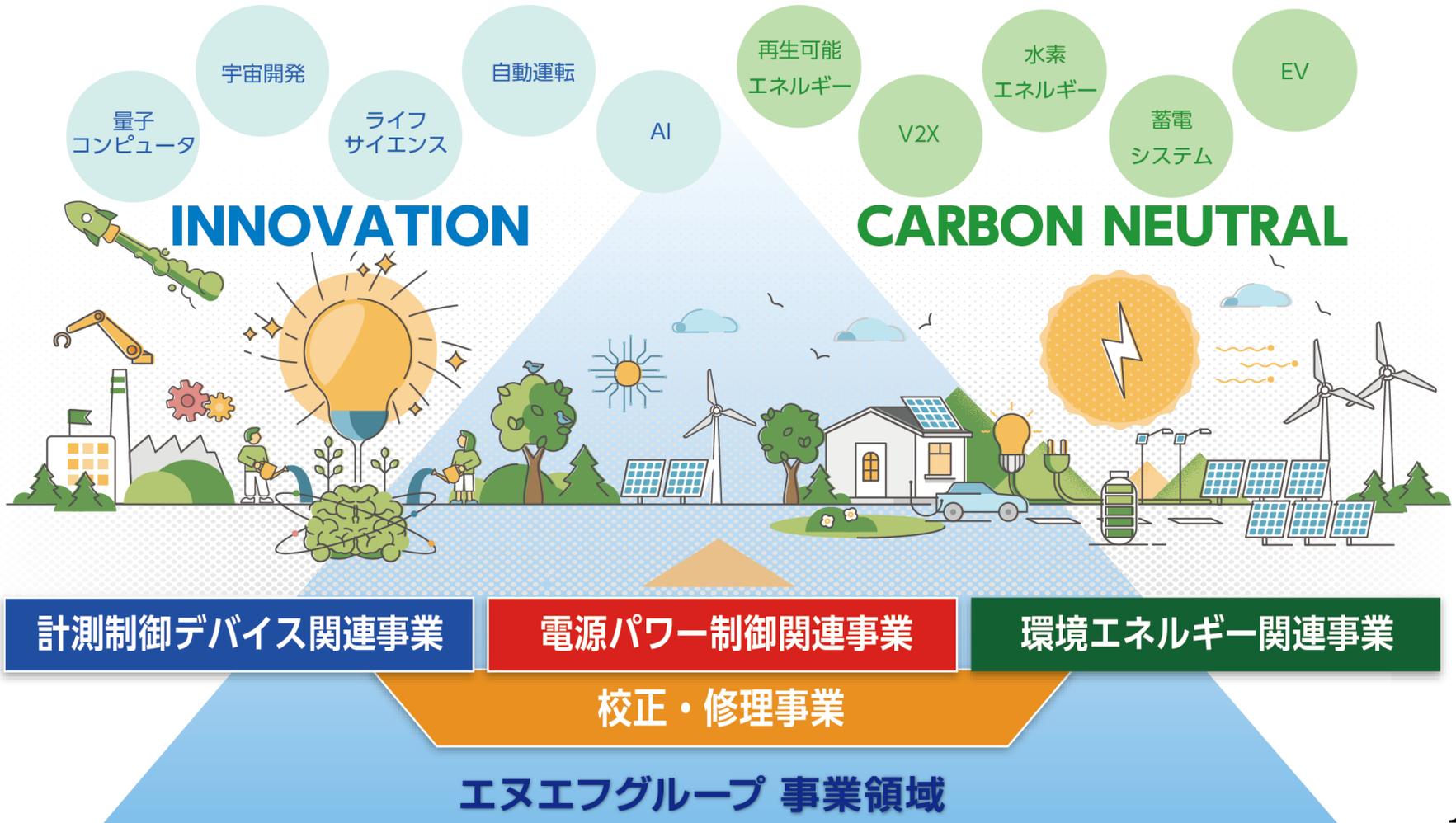
研究

● 主要事業分野



● 豊かな未来への取組み

= 計測・制御技術で、未来を拓く新しい価値を創造します =



外部環境認識と事業方針

足元事業の強靱化と将来成長基盤の構築

- 計測・電源パワー制御分野で、高機能、高性能機器を実装用途にも幅広く提供
- 宇宙、航空、量子コンピュータ分野で、独自の新技术による新市場開発
- 環境ビジネス展開は家庭用から産業用再生エネルギー電源システムにシフト
- ヘルスケア関連分野で、医用計測機器提供によるソリューション事業展開

企業体質強化

- 山口生産拠点の生産計画力強化
- 原価低減管理の強化
- 業務全般の効果効率向上

事業体制強化

- エヌエフ回路設計ブロックとNF千代田エレクトロニクスの合併による商品、技術の融合

経営環境

- 生産部材コストの高止まり
- 米国関税政策の製造業への影響

市場動向

- 不安定な為替動向、金融政策転換
- 脱炭素化ニーズ、ヘルスケア市場の拡大
- 家庭用蓄電池市場の競争激化

注力商品

計測制御デバイス関連



- ◆ 昨年度の新商品を含む多様な商品の拡販を進め、お客さまの幅広いニーズにお応えしてまいります。

マルチファンクションジェネレータ



- 従来の60MHzモデルに加え、30MHzの2機種を発売、ラインナップ強化しました。

AEアナライザ AE9702S



- AE（アコースティック エミッション）法は、材料が変形や破壊する際に放出するひずみエネルギー（弾性波）を検出する技術です。
- ベアリング、切削工具や金型など、生産設備の劣化モニタリング用途に加え、破壊過程の解明による予知保全への応用にも期待されています。

ロックインアンプ



- 光エレクトロニクス、量子エレクトロニクスなど多様な研究分野に用いられています。
- 分析器や検出器への組み込みニーズが高まり、モジュールタイプ、小型組み込みデバイスが好調です。

注力商品

電源パワー制御関連

環境エネルギー関連



◆ 幅広い用途に対応可能な各種電源や、電力事業者・需要家向け「保護リレー試験器」も、エヌエフの注力商品として拡販に努めています。

プログラマブル交流電源 DP020AS



- エヌエフ電源の特長である低ひずみ・高安定性・低ノイズなどを継承し、多様化する評価・試験ニーズに対応する交流電源です。
- 単相2kVAを自在に組み合わせて、容量拡張（～三相18kVA）と多相化（単相3線、三相、マルチ相）に対応しています。

バイポーラ電源 HSAシリーズ/BPシリーズ



- 容量性負荷・誘導性負荷を安定駆動することが可能です。
- EV車載電装品向けの大電流に適しています。（～100A、BPシリーズ）
- コンデンサ、コイルなどの電子部品から圧電素子や磁性材料、バイオ関連まで、高速・高電圧ニーズに対応しています。（HSAシリーズ）

保護リレー試験機 RX47022



- 高圧受電設備もコージェネレーション施設もこの1台で様々なデジタルリレーの試験に対応可能です。
- 小型、軽量に加え、実作業に配慮した設計で、保守現場の作業性向上を追求しました。

新規市場・新規顧客の開拓

◆ エフエフは、脱炭素化・次世代電力ネットワーク構築に貢献する様々な商品を取り揃えております。

水素



- ・ 大容量・高効率直流電源
- ・ 高調波抑制対策

水素製造用直流電源

電力系統

- ・ 系統連系認証試験
- ・ スマートメータ試験
- ・ 保護リレー試験
- ・ 系統シミュレーション



保護リレー試験器

系統模擬アンプ



系統連系試験システム

再生可能エネルギー

- ・ 高精度・高効率 電力変換
- ・ 分散電源シミュレーション



蓄電池模擬電源



PV模擬電源



実証実験用
コンバータ



系統連系インバータ



蓄電池

- ・ AI充放電制御
- ・ IoT遠隔制御
- ・ 災害時自立運転制御



蓄電システム



新規市場・新規顧客の開拓

- ◆ (株)エヌエフ回路設計ブロックと(株)NF千代田エレクトロニクスは、2025年4月1日に合併しました。両社の技術・製品の更なる融合、連携を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

2024年12月20日 日刊工業新聞特集記事「安定化電源&電子負荷」に掲載の当社広告

脱炭素化に貢献

交流電源



スケールラブル & フレキシブル
用途にあわせて自在にシステム構築

- 50 kVA
- 並列接続による容量増設
- 特定計量制度対応
- IoT対応

プログラマブル交流電源

直流電源



高電圧・大容量

高速応答

バッテリー充電

再生可能エネルギー、蓄電池を
組み合わせたエネルギーシステムに

系統連系インバータ

オンサイト水素ステーションから
メガワット級水素製造プラントまで

水素製造用電源

**再エネ
パワコン**

低ひずみ 低ノイズ 高ロバスト性

水素

水電解による水素製造に
電解槽の仕様にあわせてカスタマイズ

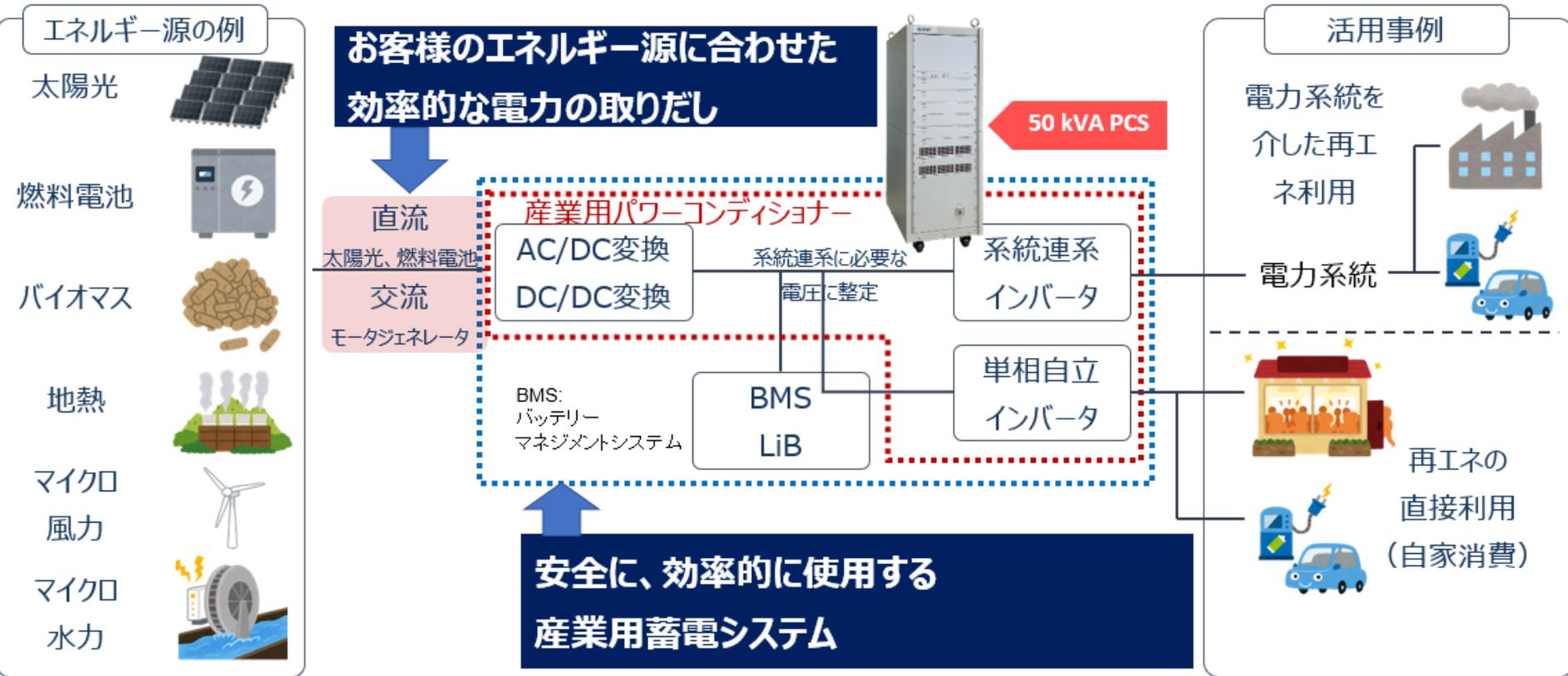
- 小容量から大容量まで
- 高調波抑制対策
- コンテナ収納対応
- 水冷式に対応

高効率 耐環境性能 大電流




新規市場・新規顧客の開拓

◆ 家庭用蓄電システム事業で培った技術や経営資源を、エネルギー源や用途等、ニーズが多岐に亘る産業用蓄電システム（再生エネルギー用電源システム）に応用していくことで、NFグループの環境ビジネス展開を維持発展させてまいります。

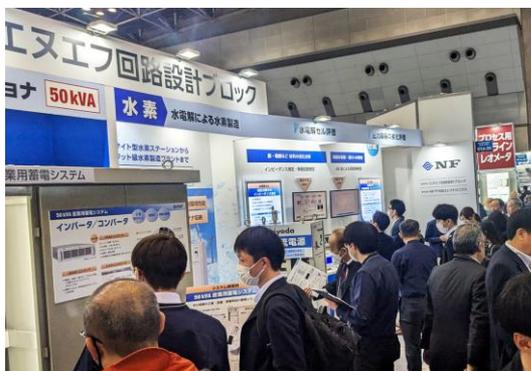


新規市場・新規顧客の開拓

◆ NFグループの50kVAパワーコンディショナと水冷式直流電源は、2025年2月開催の「SMART ENERGY WEEK」にも出展され、再生可能エネルギーの社会実装に寄与する技術として注目を集めました。



2025年2月19日～21日開催
(東京ビッグサイト)



● 新規市場・新規顧客の開拓

- ◆ 水素関連ビジネスにおいて、エヌエフの水素発生用電源に、計測制御技術を組み合わせることで、お客さまのニーズをトータルサポートしています。

密封水冷式 水素発生用直流電源

- 発熱する部品の水冷化により電源からの排熱を削減します。
- 太陽光発電設備等と連携する場合に設置が容易なコンテナ収納型水素製造装置に適しています。

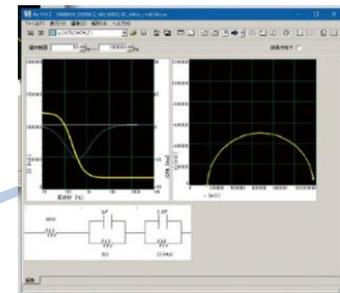


水電解セル劣化メカニズム解析

直流電源 (Chiyoda)



バイポーラ電源



等価回路推定ソフトウェア



周波数特性分析器

- Chiyoda直流電源が大電流で駆動しながらバイポーラ電源からも定電流で信号を重畳してインピーダンスを周波数特性分析器で測定します。

新規市場・新規顧客の開拓



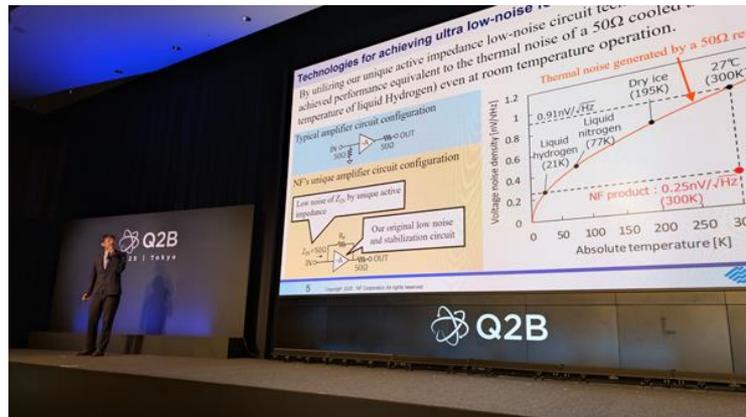
◆ 量子コンピュータなど、最先端技術分野において、エヌエフ製品の活用が進んでおり、更なる事業の拡大を推進してまいります。

APS | JOINT MARCH MEETING AND APRIL MEETING
Global Physics Summit
March 16–21, 2025, Anaheim, CA and virtual



Q2B 2025 Tokyo

2025年5月15日～16日 (グランドハイアット東京)

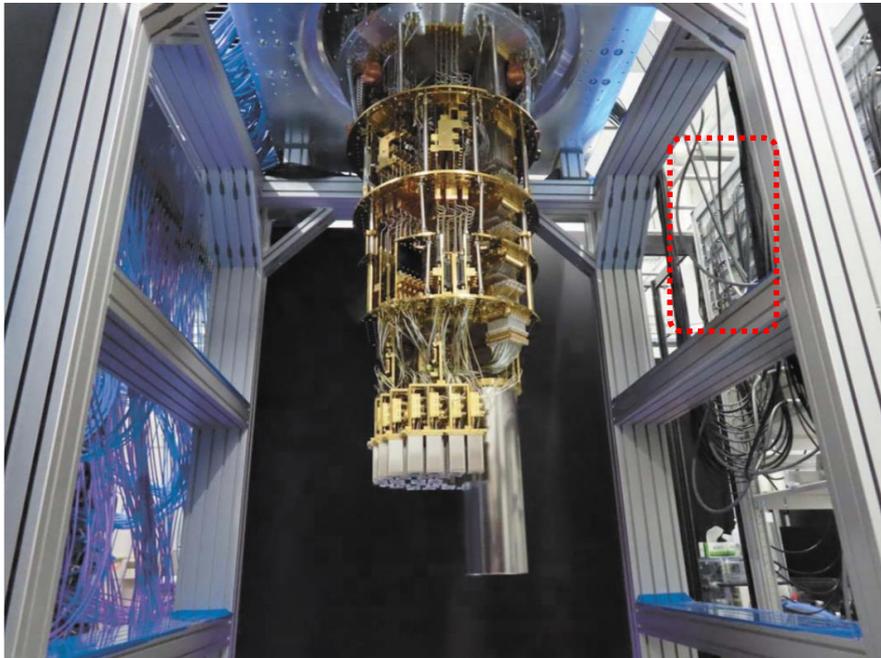


Q2Bでは「量子コンピューティングのための低ノイズ技術」について、当社の講演が行われました。

● 新規市場・新規顧客の開拓

- ◆ 2025年4月に富士通と理化学研究所が世界最大級となる256量子ビットの量子コンピュータを開発した旨発表されました。当社では引き続き量子コンピュータを支える高性能機器の提供を強力に推進していきます。

2025年4月22日電波新聞記事より抜粋



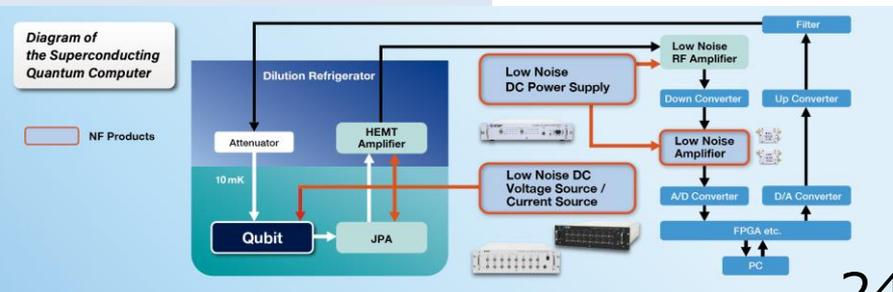
報道陣に公開された256量子ビット超伝導量子コンピュータ＝22日、埼玉県和光市の理研

当社の低雑音直流電源が採用されています。

富士通と理化学研究所は22日、世界最大級となる256量子ビットの超伝導量子コンピュータを開発したと発表した。2023年に発表された64量子ビット機の技術を基盤に、計算能力を4倍に拡大した。26年には1000量子ビット機の実現に向けて開発を進めていく。

256量子ビット機は、2025年度第1四半期をめどに、富士通が提供するハイブリッド量子コンピューティング基盤で、企業や研究機関向けに提供する。従来機と比べ計算能力は約4倍に向上したことで、より複雑な分子解析や誤り訂正アルゴリズムの実証実験に活用できるようになる。

超伝導量子コンピュータの構成



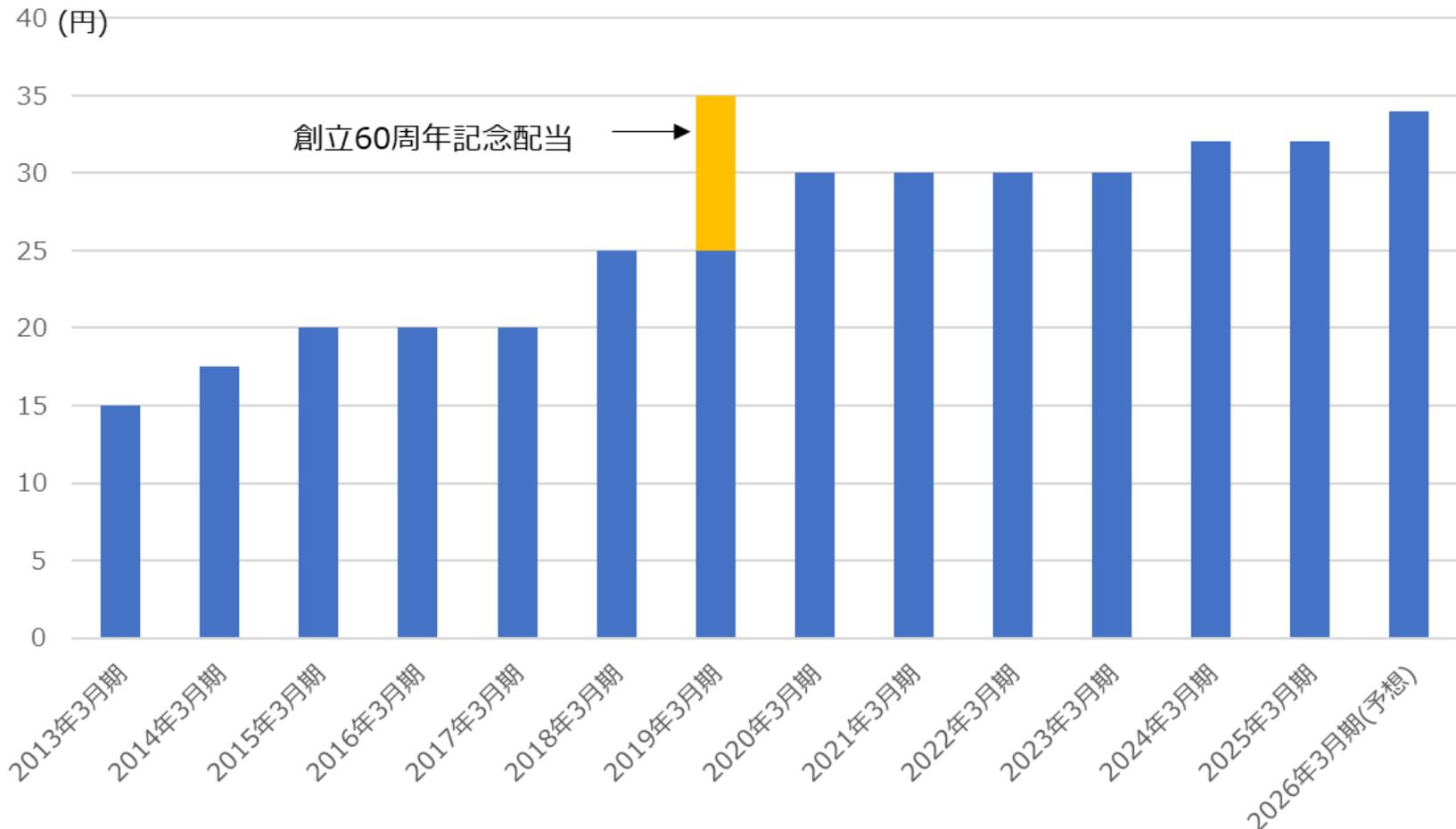
● 2026年3月期連結業績予想



(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期予想	増減(%)
売上高	9,083	8,900	△2.0
営業利益	547	680	+24.2
経常利益	587	680	+15.8
親会社株主に帰属する 純利益	450	480	+6.5
1株当たり純利益(円・銭)	64.21	68.39	-

1株当たり配当金の推移



- ◆ 配当につきましては、中長期的な発展をも見据え、経営的・総合的観点から、安定配当を基本に業績等を総合的に勘案して決定する方針としております。
- ◆ 2026年3月期配当は、1株当たり34円（2025年3月期比+2円）の配当を予想しております。

本資料における注記事項



本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な要素により、異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

■ IR問い合わせ ■

<https://nfhd.co.jp/form/inquiry.php>